

損傷澱粉測定装置



簡単

酵素フリー、小麦粉1gで自動分析

迅速

1サンプル10分もかからずに測定可能

正確

再現性の高い測定装置

SDマチックは電流測定を用いて10分未満で損傷澱粉値を算出します。

▶ 測定原理

SDマチックは小麦粉を水で希釈した溶液中のヨウ素吸収量を測定しています。小麦粉中の損傷澱粉によってヨウ素の吸収量は変化します。

適応例

- ▷ミルの調整：ロール機の状態確認や調整
- ▷パン生地の生産性向上(ミキシング時の吸水率が管理可能)
- ▷パン生地のベタつき調整
- ▷パン製品の容量や焼き色、保存期間の最適化

▶ 利点

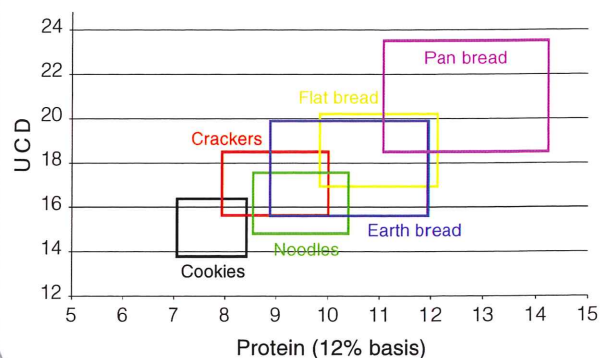
- ▷この方法は従来の(酵素)方法と比較して損傷澱粉量の測定が簡単です。
- ▷テストは小麦のサンプル量約1gで試験します。
- ▷より正確な結果を得るための補正機能が付いています。
(水分量、たんぱく量、サンプル量)
- ▷ソフトウェアにより、他の測定方法への換算式の作成及び換算結果の表示が可能。
- ▷電極はヨウ素の量及び温度を電気化学的に測定します。
- ▷損傷澱粉の分析は10分以内に行われます。
- ▷測定するのに特別な資格は必要ありません。

▶ 周辺機器アクセサリ

ユニットは連続テスト用に反応容器2個付で納入されます。



▼ 製品特性



製品ごとの最適な損傷澱粉の値

▼ 仕様

電圧	110 to 230VAC 単相	50, 60Hz
質量	6kg	
電気容量	170W	
寸法 (mm)	L370 × D390 × H25D	
溶液	水 120ml + ほう酸 3g + ヨウ化カリウム 3g + チオ硫酸ナトリウム溶液 1滴	